

# 平成 29 年度 介護助手モデル事業実践報告会

厚生労働省 2018 年度施策とパネルディスカッション

## 1 目 的

昨今の福祉・介護分野は、要介護高齢者の増大、少子高齢化の更なる進行、世帯構成の変化などにより、福祉・介護サービスのニーズが増大しております。県内においても平成 37 年には 1,407 人の人材不足が見込まれており、介護人材の定着は喫緊の課題であり、子育て中の介護職員が働き続けることができる環境整備はとても重要です。

このような中、本会では平成 28 年度から介護職員が専門的な知識・技術を必要とする業務に専念できるよう、家事的な業務を分担することで介護現場の作業効率の向上を図る可能性を検討するため「介護助手モデル事業」を実施してきました。

本事業は、地域の元気な中高年齢者を開拓し、家事的な業務の担い手「介護助手」として介護現場へ雇用し人材確保に繋げるものです。2 年目の今年度は県内 7 法人での事前説明会に 96 人が参加し、26 人が採用となるなど着実に福祉・介護分野の人材確保が広がる結果となりました。

本報告会では、厚生労働省における福祉・介護人材確保策と地域のマンパワーの掘り起しとその活用についてパネルディスカッションを行い、県内の介護サービス事業者等の人材確保の一助とすることを目的に開催します。

2 日 時 平成 30 年 3 月 23 日（金）13 時 30 分から 16 時 20 分まで

3 会 場 青森国際ホテル 2 階 春秋の間（青森市新町 1-6-18）

4 主 催 社会福祉法人青森県社会福祉協議会

5 参加者 青森県内の介護サービス事業者の役職員、関係機関・団体等

6 参加費 無 料

## 7 参加申込方法

別紙「参加申込書」に必要事項を御記入のうえ、平成 30 年 3 月 9 日（金）までに FAXでお申し込みのうえ、当日、直接会場にお越しください。

なお、会場の定員を超える場合のみ、事務局より御連絡させていただく場合があります。

## 8 日程及び内容

13:00～13:30	受付
13:30～13:35	開会・挨拶（5分） 社会福祉法人青森県社会福祉協議会 事務局長
13:35～14:35 （60分）	<b>【情報提供】</b> <b>「2018年度は新たな視点で介護人材確保に挑む！」</b> <b>～介護未経験者に研修制度ほか～</b> 厚生労働省社会・援護局 福祉基盤課
14:35～14:50	休憩（15分）
14:50～16:20 （90分）	<b>【パネルディスカッション】</b> <b>「中高年が、これからの介護人材不足を救う！」</b> <b>～介護助手モデル事業実施法人の報告から～</b> コーディネーター 弘前医療福祉大学短期大学部 准教授 戸来睦雄 氏 助言者 厚生労働省社会・援護局 福祉基盤課 パネリスト 社会福祉法人徳望会（階上町） 社会福祉法人寿栄会（八戸市） 社会福祉法人奥入瀬会（おいらせ町） 介護助手（本事業の就労者／八戸市） 社会福祉法人青森県社会福祉協議会
16:20	閉会

## 9 個人情報の取り扱いについて

参加申込書に記載の情報は、本報告会開催に係る事務処理のみに使用し、他の目的に使用することはありません。また、本会での個人情報については、「社会福祉法人青森県社会福祉協議会個人情報保護に関する方針」に基づき、適切に取り扱います。

## 10 申込み・問い合わせ先

社会福祉法人青森県社会福祉協議会 福祉人材課（担当：鳥居）

TEL 017-777-0012 FAX 017-777-0015 E-mail [masaaki.torii@aosyakyo.or.jp](mailto:masaaki.torii@aosyakyo.or.jp)

住所 〒030-0822 青森県青森市中央三丁目 20 番 30 号 県民福祉プラザ 2 階

### 会場略図

青森国際ホテル

〒030-0801 青森市新町一丁目 6-18

TEL 017-722-4321

青森駅より徒歩 5 分、車で 1 分

